

求人情報

■初任給 大卒195,000円～
 ■福利厚生 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、社員旅行、確定拠出年金、資格取得支援、愛好会支援ほか
 ■休日休暇 月8回（5月・8月・12月は9回、3月は7回）、リフレッシュ休暇年2

採用ページはコチラから



マイナビ リクナビ

■設立 1973年12月
 ■代表 齋藤孝志
 ■資本金 3,000万円
 ■従業員数 200人 (男169人/女31人)

〒983-0828
 仙台市宮城野区岩切分台1-8-4
 TEL/022-255-3150
 FAX/022-255-9955
 https://kk-saikoh.co.jp/



仙台「四方よし」企業大賞
 Sendai "Shihoyoshi" Corporate Award

株式会社サイコー

古紙回収、一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬・処分業、機密書類処理業、コンサルティング業



リサイクル事業を柱としお客さまに感動していただける企業を目指す

12

1 「リサイクルのことなら何でもおまかせ」と社員全員で笑顔が浮かぶ。経済産業省主管の「地域未来牽引企業」にも選定されている。2 平成29年度仙台「四方よし」企業大賞を受賞。感謝を大切に仕事はあらゆる方面から称賛されている。3 回収された古紙類はプレス後、製紙メーカーへ運搬される。4 同社に勤務する100名を超える社員が回収作業に従事。若い世代が多いのも特徴だ。5 みやぎ生協との連携で始まった「RPS」。現在の提携先は全国で約310店舗に及ぶ。6 相手に姿が見えないからこそ、より丁寧な対応をしているという電話での対応。7 「お客さまに感動していただける企業を目指しています。社員はもちろん、社員を支える家族の皆さんにも幸せを感じてほしいですね」と語る齋藤孝志社長。

の1歩を大切に社風が浸透した成果だと考えています。自社の敷地内にある畑を利用した「野草作り」や「会社見学会」などの社内イベントも社員はもちろん、社員のご家族からも好評をもって迎えられています。2010年にスタートした「リサイクルポイントシステム」も定着。現在は青森県から滋賀県まで約310店舗で実施しています。同システムを活用した「震災復興キャンペーン」も実施。JETOみやぎへ寄付をする活動は震災遺児の方々が大学を卒業するまで続けていこうと考えています。弊社への入社を志望する方々に望むのは他人を思いやる心ですね。仕事に必要な知識は入社後でも取得できます。企業は、地域社会はもちろん、社員からも必要とされる存在でなくてはならないと考えています。陽の目を見ないことでも社員が喜ぶことは積極的に実践しています。社員のお子さんが大人になったら「ぜひ自分の子どもを入社させたい」と思える会社になりたいですね。

TOP MESSAGE

社員のお子さんが大人になったら「ぜひ入社させたい」と思える会社になりたいです

弊社は平成29年度仙台「四方よし」企業大賞を受賞しました。社長就任以来、働きやすい社内環境の充実に注力してきましたので、「働きよし」が評価されたことは大変嬉しく思っています。1人の100歩より100人の

12

会社に入社して、**若手スタッフに聞いた**
一番やりがいを感じたことは？



営業を通じて色々な経験
できることが嬉しいです

リサイクルポイントシステムを導入するための提案をする営業をしています。宮城県内だけでなく、名古屋や三重などにも出張があり、なかなか経験することができないので、常にやりがいを感じています。

社員全員温かく
迎えてくれますよ！



profile
【名前】佐藤大河 【在籍年数】3年9ヵ月
【配属】エコ活事業部(RPS)



意見を聞いてもらえることが
やりがいに繋がっています

同じ回収コースでも、渋滞の少ないルートを探すなど新たな発見に努めています。その発見が意見として採用されるとすごくやりがいを感じますね。自分のしたことが成果として見えることも嬉しいです。

人間関係がとても良好です
ぜひ一緒に働きましょう！



profile
【名前】佐々木耕平 【在籍年数】3年9ヵ月
【配属】業務部(回収ドライバー)

に感動を覚えたエピソードなどを募集。「自分がこのタイミングでこんなことをすれば、お客さまに感動してもらえないか、という発想につながるポジティブなニュースを発信しています」(齋藤社長)という言葉通り、社員を褒める仕組みづくりにも取り組んでいる。

地域や社員に愛される 企業づくりを展開

また、同社では金銭的な豊かさ以外にも、同じ時間や空間を共有することで得られる

幸せを感じてほしいという齋藤社長の思いから、社内の敷地に「幸耕園」という畑を造設。社員やその子どもたちなど家族で野菜作りを体験している。また、「収穫祭」というイベントでは育てた野菜を社員とその家族で収穫し、BQや芋煮をしたり、設置されたピザ窯で焼かれたピザなどが振る舞われるなど社内イベントも充実。社員10人が集まれば発足可能な愛好会活動にもメンバー1人当たり年に1万円を支給するなど積極的な支援を展開して

り、ソフトボールやゴルフといった愛好会のメンバーが活動をしている。新規採用や中途採用者の家族を対象とする「会社見学会」も、家族の働く姿を間近に見られると好評を得ている。トラックにはAEDを搭載。障がい者雇用や障がい者芸術支援機構への寄付なども積極的に展開している。「陽の目を見なくとも、社会に寄り添った企業でありたいです」(齋藤社長)という同社では、自分より他の人を思いやれる人材を求めている。



野幸づくりプロジェクト「はびねっと」が主体となり運営する「幸耕園」(さいこうえん)。同社が所有する畑で幸せを感じながらの野菜作りイベントを行う。



社員の家族に好評な「会社見学会」。「父親が働いている姿を実際に観ることで尊敬できるようになった」などの声が寄せられる。



上)「お客さまに感謝された」などを投稿。優れた内容のものを表彰する「グッドニュース」。社員全員で情報を共有し、コミュニケーションを図る狙いもある。下)業務内容の改善点を吸い上げる「ワンステップレポート」も好評だ。

社会に信頼され、社員と共に 成長する企業を目指す

四方への感謝を実践 望まれる企業を具体化

2018年に創業45周年を迎えた「サイコー」。創業以来、ゴミの減量化や資源の有効利用に取り組み、「資源循環型社会」の実現に注力。同時に「社員と共にしあわせゆとり、豊かさを味わえる企業」をコンセプトに働きやすい職場環境の実現を推進。平成29年度には、仙台「四万よし」企業大賞を受賞している。同賞は「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」に加え、企業を支える従業員にとってより良い職場環境づくりに取り組む「働き手よし」を実践している中小企業に

贈られるもので、「四方への感謝を意識した会社づくりが評価されたことが嬉しい」と齋藤社長は語る。利用者から寄せられるニーズに常に応えてきた同社では、古紙回収業から産業廃棄物および一般廃棄物の収集運搬、処理も行えるように業務を拡大。2000年には業界内において東北初となる「ISO14001」(環境マネジメントシステム)に関する国際規格を取得。2005年には機密文書処理サービスの開始に合わせ、個人情報保護の認証制度である「プライバシーマーク」も取得し、情報セキュリティの強化にも努めている。また、2008年に

は廃棄物に関する総合的なコーディネート業務にも着手。2013年4月からは仙台市宮城野区の一部における家庭ごみの回収業務もスタートするなど確固たる歩みを刻み続けている。

RPS事業を展開 復興事業にも注力

様々な社会貢献を果たしている同社が最も注力しているのが「RPS(リサイクルポイントシステム)」だ。読み終えた新聞や雑誌などの古紙類(資源物)を持参した来店客に古紙の重量に応じてポイントを付与する同システムは2010年にみやぎ生協との提携でスタート。同システムの構築により資源物の安定確保に成功したほか、来店客のエコ活動に関する参加意識の向上が図れたこともあり、宮城県内のヨークベニマル、イオンのほか、北は青森県、南は滋賀県まで波及。2019年1月現在、県内外約310店舗との連携を果たしており、RPSを展開する企業としては国内随一の規模を誇っている。また、同社ではみやぎ生協と共に震災遺児の学習支援に努めているJ

様々な活動を通じ 働きやすい職場を形成

仙台「四万よし」企業大賞の受賞につながった「働き手よし」に関して同社が行って

いるユニークな取り組みが「ワンステップレポート」(業務改善報告)と「グッドニュース」(良いことを社内でも共有する仕組み)。同社では縦軸で動いている部署のほか、部署の枠を超えて横断的に活動する各種委員会が存在。ISOの維持管理を目的とする環境委員会が提唱した「ワンステップレポート」では業務をよりスムーズに行うための書類や文具の整理整頓を行い職場の見える化につながった改善報告を社内で行う。若手社員も意見を発表しやすい環境を形づくっている。また、CD委員会が中心となり運営している「グッドニュース」では社員が仕事



リサイクルポイントシステムを設置したスーパーでは定期的なキャンペーンを実施。運営管理する部署の社員が企画している。